

令和5年度 第4回函南町環境審議会 会議録

[会議の開催の日時] 令和6年1月12日（金） 午後1時29分～3時3分  
 [会議の開催場所] 函南町役場 4階特別会議室  
 [出席者] 委員：(会長)八木戸委員、(副会長)森委員、鈴木(和)委員、  
 柿島委員、大隅委員、土屋委員、鈴木(敏)委員、宮本委員、  
 町：大沼厚生部長、加藤環境衛生課長、芹田課長補佐、笠井係長、  
 (委託業者)株式会社 長大 山本氏、玉置氏  
 [傍聴者] 1人

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 会議

<諮問事項>

- ・函南町脱炭素化戦略及び地域温暖化対策実行計画（区域施策編）（案）の策定について

【事務局説明】パブリックコメント等の意見を踏まえた修正について

【質問及び意見要旨】

委員	<p>大きな変更や質問等はない。この計画案はわかりやすいと思っており、学生にも見てもらえれば、再エネや今後地域をどうするかの一つの教科書にもなると思う。いろいろパブコメ等でコメントをいただいているが、とてもいいかなと思うところもあるので、そこはまず申し上げたうえで、55件のコメントをいただいて、内容によっては真摯に受け止めて、環境審議会の在り方等にもご意見をいただいているので、少し緊張感を持った対応をしていくことも考えてもいいと思う。</p> <p>今回の案は世界的なトレンドを見ても、あるいは他の自治体と比べてもそんなに何か大きくおかしなものだというのはあまり感じていない。今回太陽光というところで、選択と集中ということで方向性を出したと思う。今後導入調査と検討を行うということだが、具体的にいつ頃、どういう形で行うかを教えていただきたい。静岡県産業振興財団が何かというところを教えてほしい。</p>
事務局	<p>太陽光の今後は、公共施設の太陽光の導入について、調査または検討を現在考えている。次年度以降にまず公共施設の太陽光設置の可能性調査をした上で、設置ができるかできないか。また、どれぐらいの容量を設置して、災害時への対応、レジリエンスの強化をするか検討していく。</p> <p>静岡県産業振興財団は、中小企業向けの脱炭素セミナーなどの支援をしている団体である。当町も静岡県産業振興財団が実施しているセミナーに参加をしており、中小企業向けの脱炭素関係または省エネに向けてどういった取り組みを推奨しているかというのを把握する必要があるため、セミナーに参加をしている。今年度9月に当町役場で産業振興財団の主催となる中小企業向けの脱炭素セミナーを開催した。静岡県産業振興財団は、静岡県の関連団体と認識をしている。</p>

会長	委員の皆様からご意見はいかがか。
委員	<p>55件のコメント勉強になった。中身はいろいろあると思うが、真摯に受け止めた方がいいものもあるので、その辺りをコメントする。</p> <p>若い世代の意見があまり反映されていないというのは、どこでもあると思う。なかなかこれはどう働きかけても、若い人たちの政治離れなど仕方がないことだと思う。これからこの計画でPDCAサイクルを回すときに、なるべく若い方々にも情報が届くような努力をして、その都度フィードバックし、それを町民の方に公開することを繰り返すことしかないと思う。大変だと思うがこれからの課題ではと思う。</p> <p>計画案のロードマップと2節の対策と施策の取組内容だが、ここはとても大事だと思う。誰が何をいつするかというアクションプランに相当するところで、PDCAサイクルの中で、例えば町民の方がしたことを何らかの形で行政側からそれを聞き取っていき、何かの形で加工した上で公開するとか、常に住民の方が事業者の方とのコミュニケーションツールとしてPDCAサイクルを使うと、この計画の実効性や透明性が高まるのではと思う。</p> <p>促進区域の考慮すべき区域だが、とても大切なところだと思う。静岡県太陽光発電設備の適正導入に向けたモデルガイドラインを参考にした旨を計画の中に明記をすると出典がわかると思う。</p> <p>計画案の62ページのFITの注釈だが、この注釈でわかればいいが、ちょっと厳しいところもあると思う。何かのときには対応できるような準備があってもいいのではと思った。見る側からすると、一応は記載しているが、太陽光のみで2030年以降のところは、要は線で書いてあるので、その見方によって注釈の部分との関連性がわかればいいというところが少し気になった。</p> <p>取り組む現場や勉強したいという学生はどんどん使ってほしい。函南町の教育現場においても、私達の大学を使っただいて、つまり計画を作っても作っただけでは何も改善されないの、いろんな関係者を巻き込んでいただいて実行していく。その中で、うちの大学と学生のリソースを使っただくように、私自身も函南町の皆様とご一緒できればというふうに思っている。</p>
会長	<p>ご意見、ご提案をいただいたのでこれを踏まえて、この計画をいかに活用するかということが大事だと思う。他にご意見よろしいか。</p> <p>いただいた意見は、私と事務局で内容を協議した上で修正し、函南町脱炭素化戦略及び地球温暖化対策実行計画として承認するという事によろしいか。また修正点は修正した上で委員の皆様にお渡しするという事にする。この案について承認をいただける方は挙手をお願いします。挙手全員である。皆様にご承認いただいたので、事務局で答申書の案を作成するため暫時休憩する。</p>
会長	答申書の案を配付したので、事務局で説明をされたい。
事務局	答申書案を朗読。

<p>会長</p>	<p>答申書の内容はいかがか。答申書がこれでよろしいということであれば、挙手をお願いしたい。挙手全員であるので、これをもって答申書を町長の方に提出したい。答申については、私と副会長で答申をしたいと思うがいかがか。よろしいですか。ではそのようにさせていただく。以上で審議会に諮問された案件の審議を終了する。各委員の皆様には、ご協力いただき大変ありがとうございました。函南町総合計画のテーマにもある快適に安心して暮らせる環境作りと環境基本計画の基本施策、省エネルギー社会の実現についての計画をまとめることができたことをお礼申し上げます。町においては、この計画に基づいて先ほど委員から話があったように、この計画に基づいてしっかり目標を持って実現していくということに努力をしていただきたい。</p>
-----------	---

#### 4 その他

##### 今後の予定

- ・第4回会議録の確認依頼とホームページ公開。
- ・計画策定後、町のホームページで公開する。
- ・令和6年度の環境審議会は2回を予定したい。年次報告、重点行動指針等の審議をお願いすることを考えている。

#### 5 閉会

以上